

平成27年度
和歌山市行政評価報告書

和歌山市

目 次

第1章 和歌山市の行政評価	P. 1
1 行政評価の目的	P. 1
2 行政評価の基本的な仕組み	P. 1
第2章 行政評価結果の概要	P. 2
1 事務事業評価の対象事業	P. 2
2 評価対象施策一覧	P. 2
3 行政評価による今後の事業の方向性	P. 3
4 外部評価結果の概要	P. 5
5 分野別目標・政策・施策と事務事業との体系化	P. 5
第3章 今後の取組	P. 7

第1章 和歌山市の行政評価

1 行政評価の目的

和歌山市が取り組んでいる行政評価の目的は、大きく4つに分けられます。

- (1) 市が行っているそれぞれの仕事の目的を明確にし、成果を測定しつつ、より効率的、効果的な改革改善を図り、健全な行政運営を目指していきます。
- (2) 市民の視点に立って仕事を評価することで、市民のニーズや社会情勢の変化に対応した行政サービスを行っていきます。
- (3) 市の行っている仕事を行政評価結果として市民の皆様に公表して、市政の透明性を高め信頼される行政運営を図ります。
- (4) 職員がそれぞれの仕事の目的・成果や仕事にかかるコストを意識し、課題を解決する能力を身につけ、職員の意識改革を図りながら、市行財政の体質改善を行います。

2 行政評価の基本的な仕組み

(1) 評価の体制

ア 庁内における内部評価

一次評価：評価対象の事務事業を所管している担当課において評価を実施

二次評価：担当課における一次評価結果を基に、市の企画課、行政経営課、人事課、財政課（一部事業について教育委員会事務局）が合同で、二次評価を実施

イ 外部評価

市長が実施する事業については、学識経験者、企業経営者及び公募市民等で構成される和歌山市行政評価委員会、教育委員会が実施する事業については、学識経験者、児童・生徒の保護者代表等で構成される和歌山市教育委員会事務評価委員会による評価を実施

(2) 評価の視点

次の視点を基本としてチェックし、評価を行いました。

妥当性：市の関与は妥当か、民間で行うべきではないか。

対象や目的を変更することで費用対効果が向上しないか。

上位の政策体系（施策等）に貢献しているか。

有効性：事業の成果は十分か、向上の余地はないか。

類似事業がある場合、再編することで成果を向上出来ないか。

効率性：成果を下げることなく、コストを削減できないか。

受益者負担の適正化の余地はないか。

第2章 行政評価結果の概要

1 事務事業評価の対象事業

平成27年度は、「第4次和歌山市長期総合計画 後期基本計画」に掲げる55施策のうち、外部評価においては、平成24年度から26年度までに外部評価の対象としていない全事業から行政評価委員会で選定した16事業、二次評価においては、平成23年度から25年度までに外部評価の対象となった事業及び平成24、25年度の二次評価の見直し状況調査で、各課が評価者の指摘事項に対して「対応予定」としていた162事業を抽出しました。さらに、教育委員会が行った8事業の外部評価を加え、合計186事業を評価しました。

なお、平成26年度までは、評価対象とならなかった事業については、「事業コスト管理」、「事業の進捗管理」のみを行う「事業進捗管理シート（評価シートの表面のみ）」を作成していましたが、今年度は、行財政改革の取組項目で事業の方向性が定まっている事業、市の裁量が全くない事業など一部を除外した791事業に対して、担当課により自己評価（一次評価）を行うこととし、「事務事業チェックシート」を作成しました。

2 評価対象施策一覧

平成27年度の評価対象施策は、次のとおりです。

分野別目標	政策名	施策名	評価対象事業数
1 安心して、安全に暮らせるまち	1 総合防災対策の充実	1 災害に強いまちづくりの推進	1
		3 災害等に強い体制づくりの推進	4
	2 消防・救急救助体制の充実	1 予防体制の充実	2
		2 消防力の充実	6
		3 救急・救助体制の充実	1
	3 地域安全の推進	2 防犯対策の推進	2
2 個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち	1 地域福祉と健康づくりの推進	2 健康づくりの推進	16
		3 地域医療・健康危機管理体制の充実	2
		4 生活衛生対策の推進	6
		5 保健医療対策の推進	2
	2 高齢者・障害者支援の充実	1 高齢者の生活の充実	10
	3 子育て支援の充実	1 子育て支援の充実	11
	4 社会保障制度の充実	1 社会保障制度の充実	7
5 人権尊重社会の実現	2 男女共生社会の実現	2	
3 市民と地域がつくる元気なまち	1 地域産業の振興	1 企業が成長できる環境づくり	4
		2 商工業の振興	4
		3 農林業の振興	5
		4 水産業の振興	1
		5 雇用の安定と労働環境の向上	5
	2 中心市街地の活性化	1 中心市街地の活性化	3
	3 観光の振興	1 観光客受入体制の整備	6
		2 観光客の誘致	6
	4 国内外交流の推進	1 国内外交流の推進	1
	5 地域コミュニティの充実	1 地域コミュニティの充実	1
4 自然環境と都市基盤が調和した快適なまち	1 道路網の整備	2 生活道路の整備	1
	2 公共交通体系の充実	1 公共交通体系の充実	3
	3 住環境の整備	2 河川・水路の整備	1
		4 生活排水対策の推進	9
	4 自然環境・資源循環型社会の形成	1 生活環境の保全	7
		3 地球環境の保全	3
		4 循環型社会の形成	9
	5 適正な土地利用の推進	2 良好な市街地の形成	1
	6 都市景観の形成	1 都市緑化・都市美化の推進	1

分野別目標	政策名	施策名	評価対象事業数
5 子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	1 学校の教育力の充実	7
		2 幼児教育の充実	1
		3 小・中学校教育の充実	10
	3 生涯学習の推進	1 生涯学習の推進	12
	4 文化・スポーツの振興	1 文化遺産の保護・継承	4
2 芸術・文化の振興		4	
6 その他	2 効率的な行政運営の推進	1 市民サービスの維持・向上	1
		3 情報通信技術の活用	1
		4 市有財産の適切な管理活用	1
	3 行政体制の強化と人材育成の推進	1 職員の意識改革	2
合 計			186

行財政改革大綱の5つの柱に基づく事業は、「6 その他」に分類しています。

3 行政評価による今後の事業の方向性

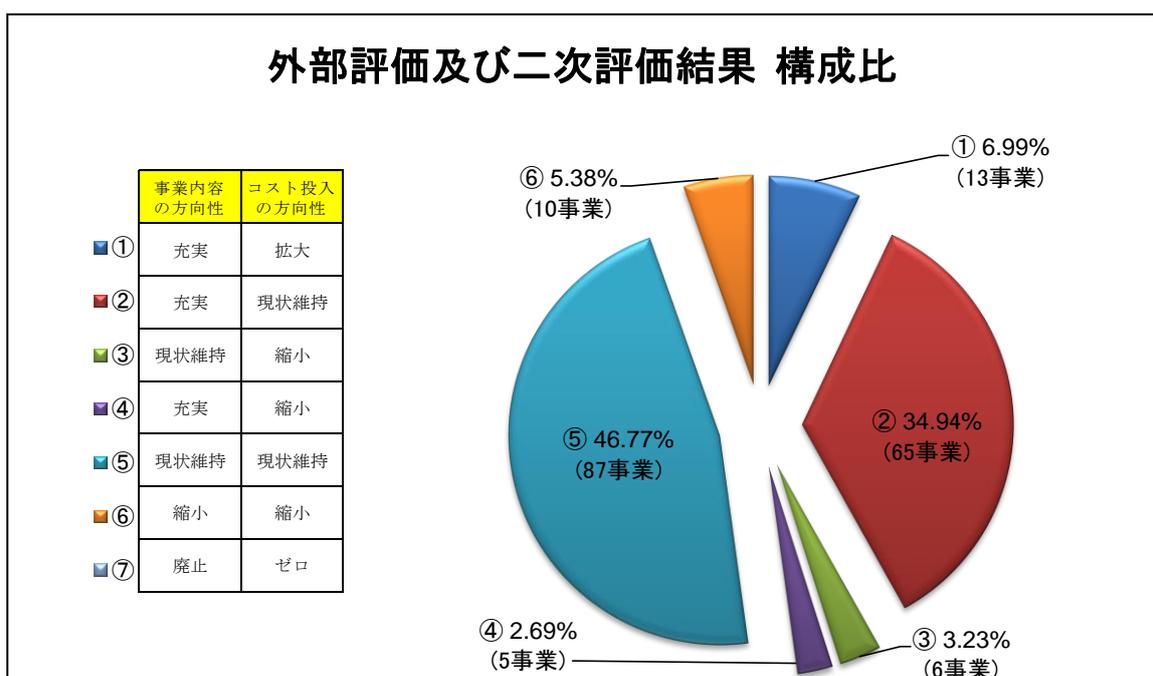
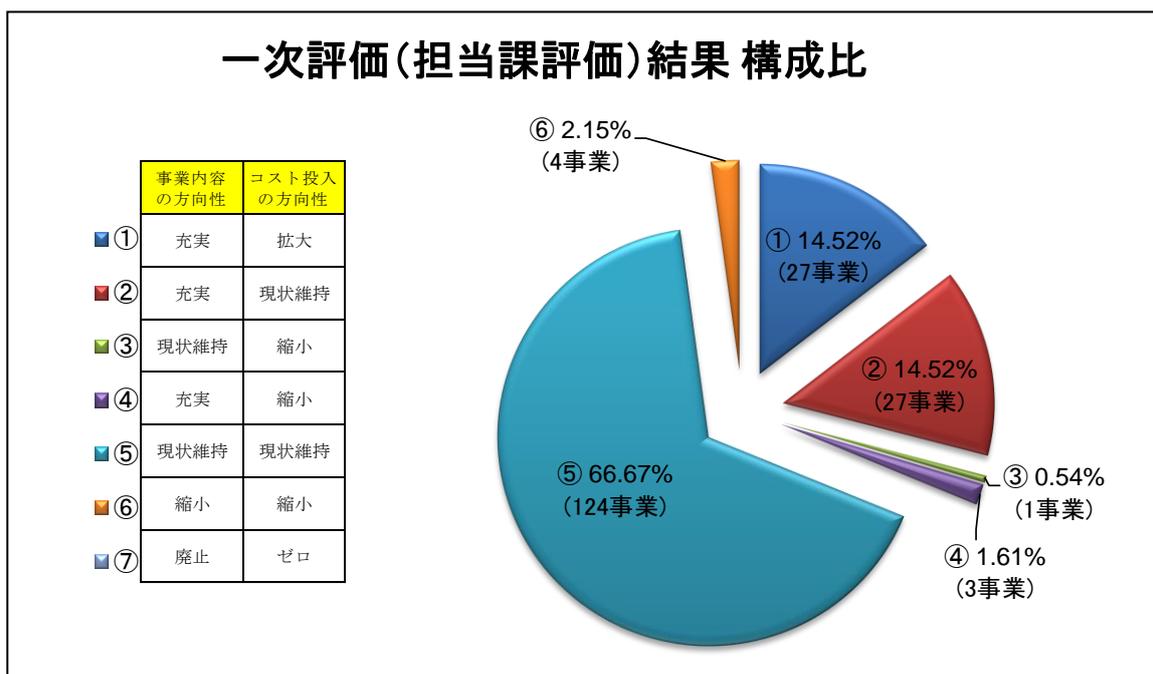
(1) 行政評価の区分

平成25年度から、【コスト投入の方向性】と【事業内容の方向性】の2つの視点で判断し、次の7つの区分に基づいて評価を実施することとし、平成27年度も同様に実施しました。

事業内容の方向性	充実		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	廃止	⑦			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

- ① 拡大 ⇒ コストを増やしてでも、事業の内容や進め方を見直し、成果を向上させる必要がある事業
- ② 生産性向上 ⇒ コストを増やすことなく、事業の内容や進め方を見直し、成果を向上させる必要がある事業
- ③ 効率性向上 ⇒ 事業の内容や進め方を見直し、成果を下げることなく、コストを縮小させる必要がある事業
- ④ 協働化 ⇒ コストを縮小させるとともに、事業の実施主体、内容、進め方を見直し、成果を向上させる必要がある事業
- ⑤ 現状維持 ⇒ 計画どおりに進めることが適当である事業
- ⑥ 縮小 ⇒ 事業の規模、実施主体、内容、進め方を見直し、事業を縮小させる必要がある事業
- ⑦ 廃止 ⇒ 事業の抜本的見直し、廃止の検討が必要な事業

(2) 行政評価結果別事務事業数



上記の円グラフを見ると、一次評価結果（担当課評価）において、「⑤現状維持」とした事業は、全186事業中124事業となっており、全体の66.67%を占めている。これは、担当課において事業の点検をした結果、現行の事業の内容、進め方で問題はなく、事業の「見直し・改善」の必要はないと判断されたものである。

一方、外部評価及び二次評価の結果を見ると、「⑤現状維持」とされた事業は、全186事業中87事業となっており、全体の46.77%にとどまっている。また、他99事業、全体の53.23%において、何らかの「見直し・改善」が必要と判断されており、事業をよりよくするための工夫が必要と判断されたところである。

4 外部評価結果の概要

(1) 成果や必要性を考慮したより効率的・効果的な行政運営の推進 (2) コスト意識の醸成等、職員の意識改革 (3) 市民の皆様への説明責任の向上を目的に外部評価を行いました。

平成27年度の外部評価の概要は以下のとおりです。(外部評価結果の詳細については、「平成27年度和歌山市行政評価委員会意見書」及び「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」を参照してください。)

和歌山市行政評価委員会が実施した評価結果				
	評価区分		担当課評価 (一次評価)	外部評価
	事業内容 の方向性	コスト投入 の方向性		
①	充実	拡大	4事業	0事業
②	充実	現状維持	3事業	9事業
③	現状維持	縮小	0事業	0事業
④	充実	縮小	0事業	0事業
⑤	現状維持	現状維持	9事業	7事業
⑥	縮小	縮小	0事業	0事業
⑦	廃止	ゼロ	0事業	0事業
			16事業	16事業

教育委員会事務評価委員会が実施した評価結果				
	評価区分		担当課評価 (一次評価)	外部評価
	事業内容 の方向性	コスト投入 の方向性		
①	充実	拡大	6事業	7事業
②	充実	現状維持	1事業	0事業
③	現状維持	縮小	0事業	0事業
④	充実	縮小	0事業	0事業
⑤	現状維持	現状維持	1事業	1事業
⑥	縮小	縮小	0事業	0事業
⑦	廃止	ゼロ	0事業	0事業
			8事業	8事業

5 分野別目標・政策・施策と事務事業との体系化

分野別目標	政策	施策名	事務事業数	事業費	人件費	
1 安心して、安全に暮らせるまち	1 総合防災対策の充実	1 災害に強いまちづくりの推進	9	3,082,869千円	215,977千円	
		2 災害に強い人づくりの推進	4	22,032千円	46,754千円	
		3 災害等に強い体制づくりの推進	10	148,957千円	80,629千円	
	2 消防・救急救助体制の充実	1 予防体制の充実	10	29,596千円	110,667千円	
		2 消防力の充実	10	1,879,622千円	233,531千円	
		3 救急・救助体制の充実	3	16,365千円	24,411千円	
	3 地域安全の推進	1 交通安全対策の推進	4	211,647千円	91,957千円	
		2 防犯対策の推進	5	57,940千円	30,825千円	
	4 消費生活の向上	1 消費生活の向上	2	10,756千円	37,618千円	
	2 個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち	1 地域福祉と健康づくりの推進	1 地域福祉の推進	13	284,626千円	75,687千円
			2 健康づくりの推進	40	949,271千円	376,923千円
			3 地域医療・健康危機管理体制の充実	10	210,518千円	51,972千円
4 生活衛生対策の推進			28	311,033千円	265,083千円	
5 保健医療対策の推進			15	1,055,769千円	181,440千円	
2 高齢者・障害者支援の充実		1 高齢者の生活の充実	41	1,014,108千円	118,116千円	
		2 障害のある人の自立と社会参加の推進	47	9,554,082千円	256,684千円	
3 子育て支援の充実		1 子育て支援の充実	43	15,594,231千円	494,483千円	
4 社会保障制度の充実		1 社会保障制度の充実	31	82,123,880千円	1,472,956千円	
5 人権尊重社会の実現		1 人権が尊重される社会づくり	10	136,562千円	467,840千円	
		2 男女共生社会の実現	2	29,403千円	30,290千円	

分野別目標	政策	施策名	事務事業数	事業費	人件費	
3 市民と地域がつくる元気なまち	1 地域産業の振興	1 企業が成長できる環境づくり	5	1,077,765千円	66,386千円	
		2 商工業の振興	10	407,692千円	128,070千円	
		3 農林業の振興	22	379,275千円	228,212千円	
		4 水産業の振興	7	81,334千円	32,219千円	
		5 雇用の安定と労働環境の向上	8	155,548千円	39,612千円	
	2 中心市街地の活性化	1 中心市街地の活性化	4	31,867千円	30,058千円	
	3 観光の振興	1 観光客受入体制の整備	10	494,324千円	138,527千円	
		2 観光客の誘致	8	140,249千円	78,638千円	
	4 国内外交流の推進	1 国内外交流の推進	8	11,423千円	36,123千円	
	5 地域コミュニティの充実	1 地域コミュニティの充実	8	153,655千円	65,329千円	
4 自然環境と都市基盤が調和した快適なまち	1 道路網の整備	1 基幹道路網の整備	8	4,141,346千円	152,753千円	
		2 生活道路の整備	12	1,597,593千円	283,956千円	
	2 公共交通体系の充実	1 公共交通機関の機能強化	8	72,222千円	36,651千円	
		2 空港・港湾機能の充実	0	0千円	0千円	
	3 住環境の整備	1 居住環境の整備	9	1,396,009千円	198,130千円	
		2 河川・水路の整備	3	291,509千円	80,418千円	
		3 上水道の整備	0	0千円	0千円	
		4 生活排水対策の推進	24	6,161,876千円	541,548千円	
	4 自然環境・資源循環型社会の形成	1 生活環境の保全	12	354,195千円	92,022千円	
		2 自然環境の保全と創造	3	2,219千円	3,686千円	
		3 地球環境の保全	5	64,744千円	34,882千円	
		4 循環型社会の形成	23	362,357千円	628,290千円	
	5 適正な土地利用の推進	1 適正な土地利用の推進	6	145,101千円	193,041千円	
		2 良好な市街地の形成	8	343,505千円	83,680千円	
	6 都市景観の形成	1 都市緑化・都市美化の推進	12	401,263千円	99,626千円	
		2 都市景観の形成	2	3,749千円	18,479千円	
	5 子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	1 学校の教育力の充実	14	318,664千円	61,792千円
			2 幼児教育の充実	4	358,077千円	12,450千円
3 小・中学校教育の充実			34	1,716,612千円	346,407千円	
4 健康教育の充実			19	1,065,511千円	67,086千円	
5 高校教育の充実・高等教育機関との連携			9	80,161千円	31,826千円	
2 青少年の健全育成		1 青少年の健全育成	13	328,017千円	151,215千円	
3 生涯学習の推進		1 生涯学習の推進	24	574,951千円	183,456千円	
4 文化・スポーツの振興		1 文化遺産の保護・継承	21	338,123千円	92,646千円	
		2 芸術・文化の振興	13	280,517千円	36,432千円	
		3 生涯スポーツの振興	16	837,278千円	612,751千円	
6 その他（行財政改革大綱の5つの柱の分類に基づく）	1 市民参画と市民協働の推進		8	105,212千円	112,297千円	
	2 効率的な行政運営の推進	1 市民サービスの維持・向上	11	202,002千円	293,706千円	
		2 事務事業の効率化	11	620,103千円	282,553千円	
		3 情報通信技術の活用	5	503,274千円	223,850千円	
		4 市有財産の適切な管理活用	3	471,382千円	87,753千円	
	3 行政体制の強化と人材育成の推進	1 組織体制の強化	3	18,437千円	21,173千円	
		2 定員管理の適正化	0	0千円	0千円	
		3 職員の意識改革	2	23,207千円	5,095千円	
	4 安定した財政構造の構築	1 特別会計等の健全化	2	14,336千円	9,393千円	
		2 財源の確保・創出	15	434,715千円	859,232千円	
3 外郭団体の経営健全化		0	0千円	0千円		
5 広域行政と地方分権の推進		2	1,015千円	8,348千円		
行政評価事務事業 合計			791	143,285,681千円	11,453,640千円	

※事業費は、平成26年度決算です。

※人件費は常勤、非常勤職員（再任用・非常勤・賃金支弁職員）の合計で、平均単価で計算しています。

第3章 今後の取組

平成26年度までに全事業を評価したことにより、平成27年度はフォローアップとして、評価の客観性の確保、さらに効率的・効果的な改革改善を図るべく事業を抽出し、外部評価と二次評価を行いました。

外部評価においては、平成24年度から26年度までに外部評価の対象としていない全事業から行政評価委員会で選定した事業について評価を行いました。

また、二次評価においては、平成23年度から25年度までに外部評価の対象となった事業及び平成24、25年度の二次評価の見直し状況調査で、各課が評価者の指摘事項に対して「対応予定」としていた事業等、「見直し・改善」の余地が大きい事業を抽出して評価を行いました。

外部評価と二次評価において、見直しを要すると判断された事業については、担当課による事業の見直し案を記載した「改善調書」を作成し、財政課による予算査定時の参考資料として活用しました。

評価結果は、行政運営における各行政マネジメントツールの一つとして活用することを目標としており、継続して活用を進めていきたいと考えています。

また、行政評価の在り方を見直し、行政評価以外の各行政マネジメントツールとの連携強化を図り、更なる効果的な運用を目指します。

「活用される行政評価」の構築

現在、行政運営を行っていく際に、「3つの約束」「44の約束」「人事評価」「組織目標管理」「長期総合計画」「予算編成」等の重点項目があり、これらの連携が上手く取れていないという課題があります。

これらの項目の連携として、まず「行政評価」を「予算編成」へ反映することに取組んでいます。

平成24年度から「行政評価」において「見直し」「改善」が必要と判断された事業については、担当課において見直し案を検討し、予算査定時にその内容を確認することとしており、「予算編成」への活用を図っているところです。

更に、今後、新たに策定される長期総合計画の進捗管理や和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関するKPI管理が必要となることから、事務事業評価だけでなく、政策目的を達成するための手段である施策の評価を行うことが重要となります。

そのため、平成28年度は、事務事業評価に加え、施策評価の導入も含めた新たな行政評価の構築を進めます。

また、「行政評価」を行う過程において、現状把握と分析、課題整理、データの蓄積等により、「目標」を明確にし、「組織目標管理」、「行財政改革」及び「人材育成」等へと繋げていくなど、「活用される行政評価」の構築を進めます。

平成27年度
和歌山市行政評価報告書

平成28年3月

和歌山市 総務局 企画部 行政経営課
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地